

働く女性の尿モレ（軽失禁） 不安解消・ウェルビーイング向上を図る サービスの開発と実証

2023年11月09日

代表団体 Lasiina株式会社



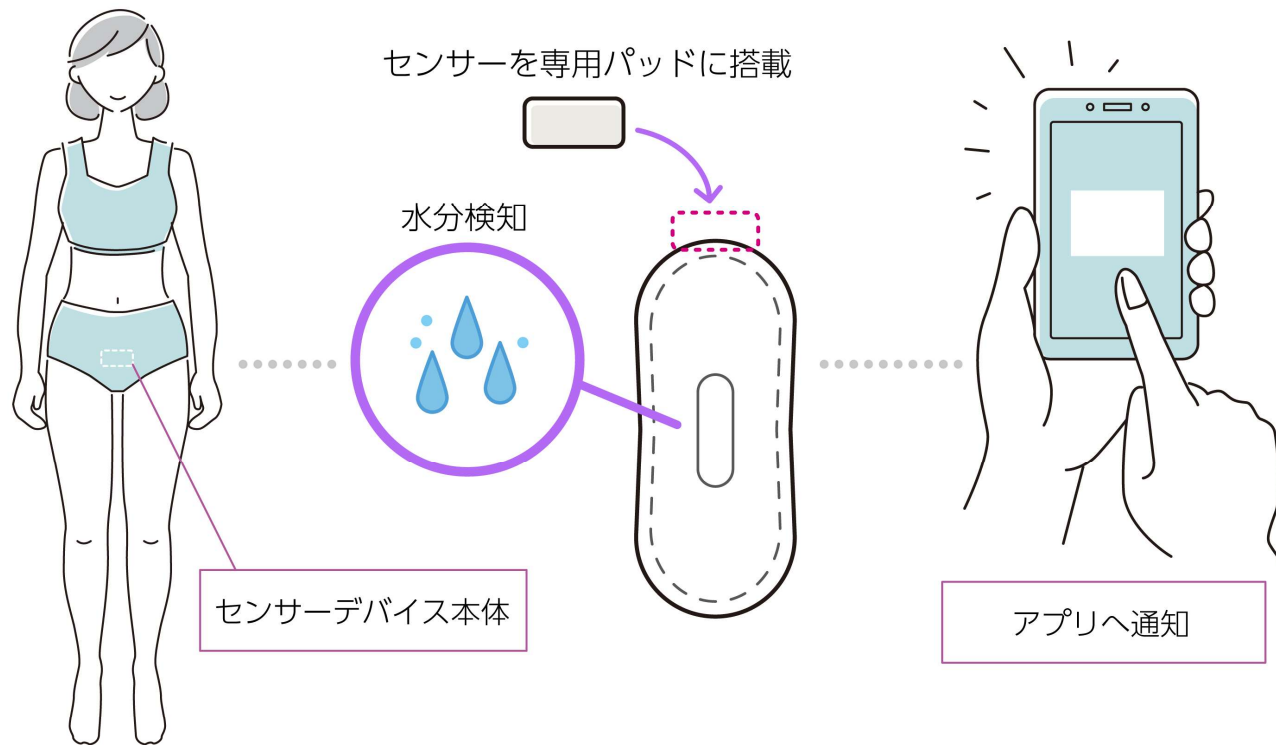
Lasiina株式会社
代表取締役 野正竜太郎



1. 漏れや不快感 尿が漏れることによる不快感や恥ずかしさ
2. トイレの不安 いつもトイレが気になる
3. 自己評価低下 老け込んだ気分、情けない気持ちになる

「Lasiina調べ」

センサー搭載の軽失禁パッドで尿モレの不安を軽減するサービス



働く女性の尿モレ（軽失禁）
不安解消・QOL向上を図る
サービスの開発と実証

①センサー対応吸水パッド新商品開発

②センサー・スマートフォンアプリ開発

③実証アンケート・モニターテスト

実施してきたこと

①センサー対応吸水パッド新商品開発

漏れが不安で厚手のパッドを利用していた女性も、センサーが監視しているから安心
薄いパッドに変えてすっきり快適。おしゃれが楽しめるようになる



厚くモコモコして動きにくい

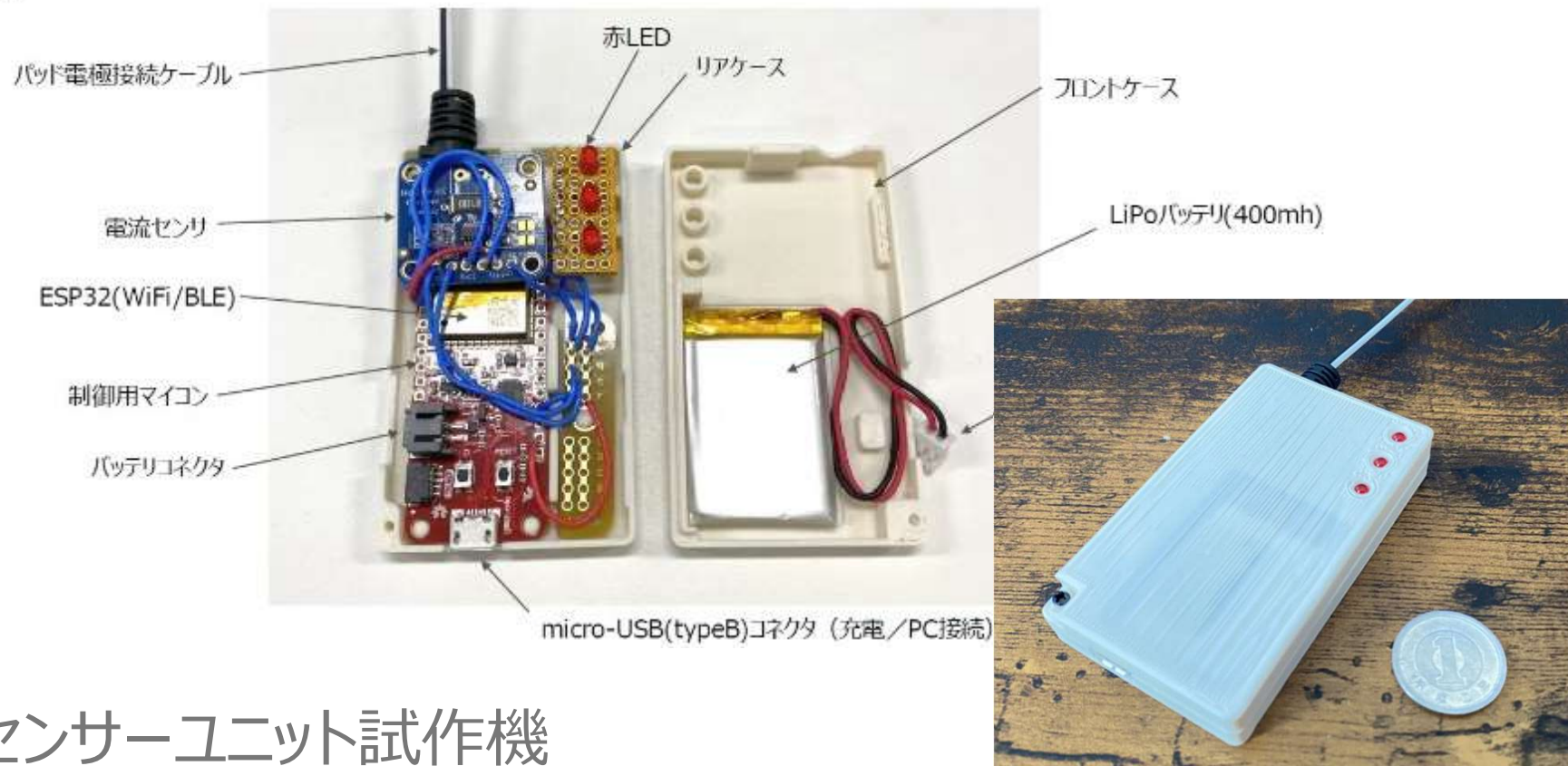


薄くてすっきり。動きやすい

実施してきたこと

②センサー・スマートフォンアプリ開発

■ 構造図



センサーユニット試作機

最終製品は消しゴムサイズ。コードレス化予定。

実施してきたこと

③実証アンケート・モニターテスト

FUJITRA Café presents

富士通社員のままスタートアップ起業！ 実践者が語る世界初のサービスを創る取り組み

～出向起業で立ち上げた Lasiina社の取り組み紹介と実証実験への協力をお願い～

企業に所属したままスタートアップを起業する「出向起業」制度^{※1}。富士通から出向起業された Lasiina社^{※2} 代表 野正さん、日本製紙クレシアさんにお越しいただき、その取り組みをご紹介します。
また、富士通発スタートアップの実証実験にご協力いただける方の募集も行います。

※1：経済産業省の立ち上げた「大企業等人材による新規事業創造促進事業」制度。
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/shukkokigyoy/shukkokigyoyou.html>
※2：フェムテックサービス（尿モレセンシング）を提供するスタートアップ。日本製紙クレシア様と共同開発中で、経済産業省のフェムテック補助事業にも採択。

開催日程
10月18日(水)
12:10-12:50 オンライン開催

お問合せ先
新規事業創出プログラム
Fujitsu Innovation Circuit 事務局
Mail: fj-fic-team@dl.jp.fujitsu.com

登壇者
Lasiina社 野正 代表
MFGより出向起業中
日本製紙クレシア社
林 開発本部長代理

Lasiina社 船橋
UXデザイナー
日本製紙クレシア社
黒須 研究部長代理

協力団体（富士通株式会社）社員に対して、モニター募集を目的としたイベントを開催した。

■尿モレ経験がある女性の実態調査：計画値100名 → 現状63名
※女性31名、男性32名の回答（10月26日時点）

■センサーデバイスによるモニターテスト：計画値30名 → 現状13名
※モニターについて、6名が協力してもよい。7名が詳しく話を聞いてから判断したいと回答

わかったことや課題

- ①尿モレは、想定していた以上にデリケートなテーマであることがわかった。
モニターテストの協力者の人数を確保することが困難であることがわかった。

尿モレについて、あなたはどのように感じましたか？

「大切なテーマ。でも大変デリケートで言い出しにくい」

「クシャミなどのときに起きる。おりものシートで結果的に対応できているが、お店で買う勇気がない。」

「知識を得るまでは恥ずかしくて対処を相談しづらいつっていた。」

- ②アンケートにご回答頂いた方は、吸水量15cc～30cc程度の少量の吸水ケア商品を使用していることがわかった。

- ③においがして周囲にバレてしまうのではないかという、不安の声が寄せられた。

仕事をしていく上で、困ったこと、つらかったことなど教えてください

「シートをつけていないときに下着や服が濡れていないか、匂いなどきになってそわそわした。」

吸水パッドで困っていることはありますか？

上位の回答 → 「においが不安」「パッドを交換するタイミングが判らない」

今後実施すること

- ①デリケートな悩みにフォーカスした検討を引き続き実施していく。
(モニターテストの協力者ひとりひとりに対して、詳細の聴き取り調査を推進)
- ②少量吸水量の吸水パッドをモニターテストに向けて用意する。
(現在用意しているパッドは170ccタイプであるため、本実証実験に向けて25CCセンシングパッドの準備を検討することとした)
- ③においの不安に寄り添ったサービスの開発を推進していく。
(現在想定してる、吸水残量の表示に加えて、モレが発生してからの時間経過を通知する機能を検討することとした)

フェムテック等サポートサービス実証事業スケジュール

	2023年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年 1月	2月	3月
吸水パッド 新商品開発	パッド開発支援	→	サンプル製造	→	サンプル① 提供・データ検証（人への着用テスト）	→	→	→	サンプル② 検討（コネクタ接触確認）	→	→
センサー デバイス開発			試作モデル製造先選定	→	→	→	→	→	→	→	→
スマートフォン アプリ・解析基 盤開発				→	→	→	→	→	→	→	→
ヘルスケア データ基盤			商品開発					→	→	→	→
軽失禁向けセ ンサーデバイス によるモニター テスト			補助事業		→	→	→	→	→	→	→
尿モレ経験が ある女性の実 態調査		▲6/7 申請済	▲採択 決定					→	→	→	→

今後の展望

尿モレの不安を解消し、外出を促進するサービスの開発を推進。
フレイル予防と健康寿命を伸ばすことに貢献する。

→地方自治体、地域の健康機関、福祉団体、
ショッピングモール、鉄道会社、バス会社、旅行関連企業等
との連携を検討



Lasiina株式会社

野正 竜太郎

nomasa@lasiina.com